

## こころに吹く風は…<カウンセリングルーム便り>



ねがいごと

たんぽぽはるか

あいたくて

・・・

あいたくて

きょうも

あいたくて

わたげを

あいたくて

とばします

(今年も素敵なお会いがありますように)

今年も長い冬休みでしたが、どのように過ごされたでしょうか？園庭には弾けるような笑顔と元気な声がまた帰ってきました。

—「おかえりなさい。」—

今年も子どもたちの元気な笑顔が輝く一年でありますように。

### ★ 「周りの大人の言葉が 子どもをつくっていく」

よく言葉には力がある、なんて言いますね。つらい時、困難に出遭った時、誰かのくれたひとことが自分を支えてくれた、奮い立たせてくれた、そんな経験は誰でも一度はあるのではないでしょうか？人生の大きな節目や転機になるような場面での「言葉の力」ではなく、日常の中での何気ないひと言の持つ力、そんなことばについて、今年は考えていきましょう。

### ★ 「言葉かけのベースは、<ほめる> より<勇気づけ>」

浅間台幼稚園の教育の指針としてアドラー心理学の「勇気づけ」ということについてもう一度振り返ってみましょう。「困難を乗り越える力を身につける」ことば掛けだといえるでしょう。

「ほめる言葉かけ」とは？ ・・・ ① 上下の人間関係で、縦の関係。「上に位置する親」が「下に位置する子」に対して、結果を評価する。  
② できたかできなかつたかの、結果に注目した言葉かけ

「勇気づける言葉かけ」とは？ ・・・ ① 人間関係は、横の関係。年齢・役割は違っても、人としての命の価値は同じ。一人の人間として子どもを尊敬し、信頼し、大切に関わる。  
② 結果ではなく、その過程や姿勢に注目する言葉かけ

### ★ 先ずは、できていることに注目しよう。参考アドラー式（言葉かけ練習帳）

<例> ぐずっていて、「おはよう」の挨拶がなかなかできない子に対する言葉かけ

① (ほめる) 「挨拶くらいしなさい！」 ⇒ 「えらい。えらい。」

② (勇気づける) 親が先に挨拶してから「あいさつすると気持ちいいね。」